

日比野 克彦 (美術学部先端芸術表現)

『日比野克彦展 ある時代の資料としての作品たち HIBINO DATA ON OUR TIMES』

1982年～2002年の20年間の作品展を時代背景とともに作品を紹介することを目的とし、展示作品の掲載と合わせて社会的現象の年表も同軸で編集した。巡回する6館の担当学芸員が仕事を分担し編集した。また巡回展ごとに行われるワークショップのページも設けて、参加者には直接書き込みを行ってもらった。カタログ全体のデザインとしてはアルバムをイメージし、作品を見ながらメモがとれるよう余白を多めにとってある、表紙も購入者がHIBINO DATA ON OUR TIMESと印刷されてあるオリジナルのガムテープを直接貼ってもらい、中身のメモも含めて自分だけの一冊を作ってもらえるようにしている。メモをすることによって自分にとってもある時代の資料として、その時の自分を振り返ることのできる本になればと考えて制作した。実はガムテープは表紙の印刷代を浮かす為の案であったが結果的には付加価値になりこの本の大きな特徴となった。

(2002年11月 教官アーカイヴ展に寄せて)